

申6号「年末手当・西九州新幹線開業祝い金」団交開催！ 申7号

本部は、11月4日、申6号「西九州新幹線開業祝い金について」
申7号「2022年度年末手当について」第1回団体交渉を開催した。

— 申6号内容について —

1、西九州新幹線開業祝い金として、一律50,000円を支払われたい。

— 申7号内容について —

1、基準内賃金に3.36(支払い月数)を乗じた額を支給されたい。

2、55歳以上の社員及び嘱託再雇用社員に一律10万円の一時金を支給。

3、嘱託再雇用社員については、基準額に社員と同様の支払い月数を乗じた額。

— 組合主張 —

- ・新型コロナウイルス感染症は終息宣言が出るまでは予断を許さない状況ではあるものの、業績回復が顕著に表れている。
- ・中間決算では、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の黒字。鉄道運輸収入の回復。業績予想の当期純利益を上方修正。
- ・9月23日にダイヤ改正が実施され、西九州新幹線が華々しく開業した一方で、佐世保運輸センターの長崎総合乗務センターへの統合、長崎、熊本、鹿児島地区の車掌配置解消や6両ワンマン運転の拡大など効率化による業務の増加や自然災害対応などで社員は疲弊しており、若年離職者は昨年を上回る状況。
- ・これまで、安全安定輸送に貢献してきた社員の弛まぬ努力に報いるべき。2020年度末手当から続く超低額回答を補うことに加え、嘱託再雇用社員の労働意欲の向上を図るため、生活給の一部である年末手当を要求する。

— 会社側現状 —

- ・西九州新幹線開業に伴い、在来線の対応など日々のご協力。また、佐世保運輸センターの長崎総合乗務センターへの統合、車掌の配置解消などの施策に対してもご理解、ご協力に感謝する。
- ・中間決算では、営業利益、経常利益、当期純利益すべて黒字。一方で鉄道運輸収入が、コロナ前の75%に満たない状況。第8波が来るといわれて楽観できない状況。今年度に鉄道事業の黒字化を図りたいが、まだその状況にない。

次回第2回団体交渉11月8日開催